【第138号　二〇一六年　六月　五日発行】

福音の園®だより

平成18年度「高年齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰
グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事務局**
☎049-230-1111(FAX230-1112)
福音の園®、Gospelgarden®は有限会社シャロンの商標

新年度に際して ── 理念・方針説明

求められる「バカ正直」な事業運営

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

地域の力を借りながら、様々な生き甲斐活動を行なっています。民謡の会・ワンちゃんと遊ぼう・ピアノの会・みんなで歌おう・園芸療法の日 他。さらに、毎週「聖書の時間」を設けています。

「初めて賛美歌を歌う」入居者や職員を配慮して、一年中『**いつくしみ深き 友なるイエスは**』(讃美歌312番)を歌っています。ホームで逝去されたら、ご家族・入居者・職員が 玄関先でご遺体を囲み、『**いつくしみ深き 友なるイエスは**』を歌ってお見送りしてまいりました。繰り返し歌う「**慈しみ深い**」と訳されている言葉は、食べ物について用いられると「**美味しい**」と云う意味になる。人について使われると「**親切な**」と云う意味になる。

ところが、悪い意味で用いられることもある。「あの人は**単純**だ。**お人好し**だ」。「あの人は**バカだ**」と云う意味で使われることもある。「主は恵み深い。慈しみ深い」は「友なるイエスは**バカ正直だ**」となる。私たちが偽りで自分を守ろうとしているときに、神はただひとり、バカ正直な生き方を貫かれた。そこにイエス・キリストの十字架が立った。皆が「十字架につけろ」と叫ぶ中で、罵り返されずに「父よ、彼らをお赦し下さい」と祈られて、バカ正直な生き方を貫かれたのでした。

『**福音**(聖書)**に基づいた希望への支援の実践**』を事業理念に掲げています。「表も裏もない」、「本音と建前の区別もない」。あるのは「神のまなざし」の前で生きる「神の本音」あるのみです。そして、神のまなざしの前で、理念を「飾り」としない「バカ正直」な運営は、「バカ正直」な介護職員を育てるところから始まると信じています。

※　※　※　※　※　※

「あの人に仕事を任せたら、間違いなくきっちりとやってくれる！」と太鼓判を押される「バカ正直者」が少なくなった。それに反して、「コスト削減」名目のもと、相手の顔色をうかがって不正に目を瞑っむる本物の「バカ者」が多くなった。

生活に欠かせない建物や食品、医薬品等の安全に関わる不正(偽装)や手抜きが明るみに出る度に「バカ正直者」を失った組織の実態が露呈される。それでも、止むに止まれず「バカ正直者」による内部告発等によって、ようやく長いトンネルから抜け出せたと云う事例もまた、後を絶たない。

「あそこはバカ正直者ばかりだから老親を預けて安心だ！」――と云われる介護施設を目指すことが事業所管理者の「最大責務」だと自覚したい。

「安心・安全・信頼」の漢字は「バカ正直者」によって初めて、「美辞麗句」でなくなり、「活きた文字」になることを再認識したいと思います。

映画『火垂るの墓』を観て知ったこと

野坂 昭如、ノサカ アキユキ と読めなかった。小説家とも知らなかった。テレビに出てくる黒メガネの変なオジサンだと思っていた。映画『**火垂るの墓**』を観て、自身の戦争体験から生まれたこと、そして、黒メガネの変なオジサンが書いた原作本から映画化されたことを初めて知った。

郷里・新潟県は、田中角栄元首相のお膝元、新潟3区から衆議院選挙に出馬して落選。この人は何を考えているのか？ と首を傾げてしまった。「あらゆる秩序を否定し、自由に生きた」(評論家・田原総一朗氏)この方は、私にはやっぱり「黒メガネの変なオジサン」だった。ところが、昨年暮れ、85歳で逝去され、各紙朝刊「評伝」を読み、この方もまた「バカ正直者」として生きた方だと知った。

生後間もなく実母を亡くし養子に出された神戸で空襲に遭った。養父を失い、1歳の義妹を栄養失調で亡くした―多感な中学生の頃の過酷な戦争体験が、生き方(言行動)の原点だったと知った。

「このような人はもう現れないだろう！」(田原総一朗氏)と死を悼んでおられたが、あらゆる業界・業種で不正や偽装が蔓延している世の中を思うと、多少誤解されようが、「あの人は単純だ、バカだ」と言われようとも、「バカ正直者」が増えてこそ、本当の意味での「景気回復」であり、「一億総活躍社会」と云えるのではないか、と信じている。

来訪歓迎

㈲〇〇介護あしすと　〇〇孝義様(青森県東通村)